



大阪のものづくり力のブランドイメージを高めるために、大阪府内ものづくり中小企業の優れた技術と創造力にあふれた製品(消費財)をブランド認証しました。認証された製品は「大阪製」ブランド製品として広く発信していきます。

自転車の部品製造で培ったものづくり技術を応用し、素材やデザイン、品質、安全にこだわった玩具。

タイヤを動かすとメロディーが流れる



**A** OGK baby  
やわらか樹脂製オルゴールカー  
はりねずみ

ベビー用玩具【OGK baby】は、自転車用子どものせ【OGK】の新ブランド。木やオーガニックコットンなど天然素材にいち早く着目し、触れても口にいられて大丈夫なおもちゃを企画。木製オルゴールカーを5年前に発売し人気を集めたが、その新バージョンとして樹脂加工技術を生かし樹脂製オルゴールカーを発売。ゾウやクジラなど動物モチーフで試作を繰り返し、最終的にハリネズミにしたのは上部のデコボコが小さな指でもひかかりやすいため。軽くてやわらかいので投げても落としても大丈夫。自転車用品製造での安心・安全にこだわった姿勢や技術が細部まで生かされている。



心のこもった手織りの風合い



さをり織り  
くり手BAG  
Bloomin  
(ブルーミン)

色や太さ、素材まで様々な糸を使い、作り手の感性で織りあげる大阪発祥の「さをり織」。武市はカバンのOEM製造で培った技術を活用し、障がい者が織った「さをり織」の価値を最大限に引き出す。温もりにあふれたオリジナル製品を作り上げた。咲きほこるという意味のBloomを進行形にした【Bloomin】というシリーズ名で企画・製造・販売されるのは、手提げやトートバッグ、リュック、ポーチなど。写真の手提げで9000円という価格帯だが、同じ柄がひとつとしてなく、「世界にひとつだけ」という価値やストーリーにファンも多い。現在は百貨店などの催事などで販売する。

大阪発祥の織物を  
大阪で作る、まさに大阪メイド  
世界にひとつだけの  
バッグとして製品化。



使い捨てが当たり前の時代に、あえて永く使いたくなる文具をつくりだす。KAKURAが使う素材は紙、土、そして革。特性の違う素材をデザインという切り口でつなげ、独自のつくり方で世の中にない斬新なステーショナリーを生み出す。たとえば、システム手帳は上質なナチュラルヌメ革を使い、裏張りせず、でんぶん糊を塗り、毛羽立ちを抑えて軽量化。環境を配慮した染色を選び、手縫いで仕上げる。機能を備えたリフィルには、ペンなどを収納できるホルダーシート、名刺などを入れるカードポケットなどオプションで選び、自分好みにカスタマイズ。日本人の独特の感性を信じ、無駄をそぎ落とした“用の美”を追求する。

使い手が愛着をもつて  
永く使い続けられる。  
変えようのない形を  
デザインで美しく表現。

革ひもで巻くことで  
美と機能表現



A5システム手帳と  
レザーリフィル



**A** オージーケー技研株式会社

国内トップシェアを誇る自転車用子どものせをはじめ、バスケット、グリップなど自転車用品を企画・製造・販売。安心、安全にこだわり日本製の玩具ラインも展開する。  
大阪府東大阪市高井田本通 6-2-32  
TEL.06-6782-4353  
<http://www.ogk.co.jp/>

**B** 株式会社 武市

昭和8年に鞆のOEMメーカーとして創業。エレガンスからビジネス、スポーツまでクライアントの要望に合わせて、企画やサンプル提案、製造まで一貫して行っている。  
大阪市阿倍野区阪南町 3-34-7  
TEL.06-6623-0666  
[http://takeichi.org/takeichi\\_co.ltd/](http://takeichi.org/takeichi_co.ltd/)

**C** 株式会社 KAKURA

グラフィックデザイナーだった石原ゆかりさんが、日本の暮らしに合ったステーショナリーを発信しようと立ち上げたブランド。文具だけでなくインテリア雑貨も展開する。  
大阪府高槻市富田町 5-1-20  
TEL.072-694-6441  
<http://www.kakura.in/>

【編集後記】

今回の巻頭対談の中で「自転車で動ける範囲の地元を元気にすることから始めるべきだと思っています。」という高田会長の言葉はズバリと心に響きました。そのためにはまず、自社がしっかりとビジョンを持って地に足つけた経営で元気でなければならない。地域との共栄、地元の活性化を常に考えながら技術を研ぎ澄ましているお二人にはとても勉強させられました。MAID IN JAPAN の前に MAID IN OSAKAのプライド。そこに視線を向けると大阪のものづくりがひと回り強く、大きくなる気がします。(中西)

スタッフ

企画・編集  
デイジーヒル株式会社

編集長 アートディレクター  
中西 和夫 雑賀 健

ライター 写真  
森下 裕美子 福永 浩二 (フォトバンディック)

印刷  
株式会社 日宣印刷

MOV,press February 2015 Vol.11

大阪のものづくり企業を知る。動く。繋がる。【ムーブプレス】

発行  
MOBIO (ものづくりビジネスセンター大阪)  
大阪府商工労働部 中小企業支援室 ものづくり支援課

〒577-0011 東大阪市荒本北 1-4-17 (クリエイションコア大阪内)  
TEL.06-6748-1011 FAX.06-6745-2362

<http://www.m-osaka.com/>

2015年1月26日 発行